

## 平成25年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	交通安全施設整備事業		基本目標	交通安全施設の整備				
担当課(局)・係	総務課	生活安全係	記入者	上妻 信一	評価者	森 弘道	開始年度	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	道路利用者の安全確保、交通事故防止と交通環境の向上						
	対象(誰を・何を)	交通安全施設						
事業の内容	交通安全施設(道路反射鏡・区画線・防護柵等)の整備							
事業の根拠法令・要綱等		交通安全対策基本法						

## ◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額		5,526千円	25年度予算額		7,025千円	25年度予算額中一般財源の割合		100	%			
支出の内訳	工事請負費	4,874千円	財源内訳	国庫支出金	千円	事業従事者数	H24	0.20	人	H25	0.20	人
	修繕料(営)	652千円		県支出金	千円	職員人件費	H24	1,429千円				
		千円		地方債	千円		H25	1,455千円				
		千円		一般財源	7,025千円	当事業の金銭的成本	H24	6,955千円				
		千円		交付金	千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25	8,480千円				
補助事業	事業の区分	該当しない			補助事業名							
	補助対象				補助金要綱							
	24年度	補助額	千円	補助の形態		H25年度補助額	千円	終期				
		交付団体の決算額	千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等								
決算額に占める割合		%										
	繰越額	千円										

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名		この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入								
	1	交通事故発生件数の減少	交通安全施設の整備により交通事故発生が減少する								
	2										
	3										
活動指標	活動指標名		この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入								
	1	交通安全施設設置数	要望等を基に交通安全施設を整備								
	2	交通安全施設修繕件数	既設の交通安全施設の老朽や破損箇所等の補修及び改修								
	3										

## ◎目標達成状況

	指標名	単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
成果指標	交通事故発生件数の減少	目標値	200	200	190	
		実績値	220	193		
		達成率	%	110.0%	96.5%	
		目標値				
		実績値				
		達成率	%			
活動指標	交通安全施設設置数	目標値	15	20	18	
		実績値	29	15		
		達成率	%	193.3%	75.0%	
	交通安全施設修繕件数	目標値	20	20	20	
		実績値	20	12		
		達成率	%	100.0%	60.0%	
		目標値				
		実績値				
		達成率	%			

事務事業名	交通安全施設整備事業	担当課(局)	総務課
-------	------------	--------	-----

## ◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	評価の理由
		自己評価	
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	交通安全対策基本法に基づき交通環境の整備を図ることが定められている。 交通安全施設は、道路の付帯設備として道路利用者の安全のため機能しており、その設置及び維持管理は、道路管理者としての町が行うべきものである。
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	1	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	交通事故防止に一定の成果が得られている。 事業実施にあたっては、関係課との連携を図りながら効果的な計画をたてる必要がある。
	◎すでに目的は達成されていないか	2	
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	効率的な施工実施のため道路整備担当課との統合、連携を検討する余地はある。
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	2	施工及び管理については、原則として道路管理者が行なうものであるが、施設破損箇所の通報や整備要望の集約等は町民や地区との連携して行なっている。
自己評価点		17	

## ※町補助をしている場合のみ記入

公益性 (公平性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		
	◎町民の理解が得られる事業であるか		
	合計(最高4点)	0	

その他	
-----	--

## ◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見  ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	この事業は、100%国の交付金をもって行う事業である。一度、町が交付金として受け入れ、一般財源として充当し、交通安全施設等を整備しなければならない事業であるため、事務事業評価には馴染まない。	今後の方向性																											
			事業の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充					維持			○		縮小					廃止					<table border="1"> <tr> <td>廃止</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡充</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト</td> </tr> </table>	廃止	縮小	維持	拡充	コスト
拡充																														
維持			○																											
縮小																														
廃止																														
廃止	縮小	維持	拡充																											
コスト																														

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全施設については、道路付帯設備と考えれば道路管理所管課で所掌した方が効率的な予算執行が図られる</li> <li>住民の安全を確保するために、進める事業である。</li> <li>成果指標、活動指標の設定を再考されたい。</li> </ul>	外部評価委員会 評価判定欄	
事業		維持	事業
コスト		維持	コスト

## 平成25年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	防災事業			基本目標	危機管理体制の整備			
担当課(局)・係	総務課	生活安全係	記入者	野中康弘	評価者	森弘道	開始年度	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	災害時の住民の生命と財産の被害を最小化、応急対策、平常時の予防対策						
	対象(誰を・何を)	町民						
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町民の防災意識の高揚や自主防災組織活動の充実を図るため、防災士の養成、各種避難訓練や出前講座を実施する。</li> <li>・ 地区や自主防災組織の防災資機材の整備については、地域防災力向上補助金を活用する。</li> <li>・ 災害時における避難所等での備品や備蓄食糧の整備を年次的に行う。</li> <li>・ 施設老朽化やデジタル化への対応のため、防災行政無線放送施設の更新を行うとともにSOS・防災情報配信システムの再構築を行い、情報伝達手段の迅速化・多様化を図る。</li> </ul>							
事業の根拠法令・要綱等								

## ◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額	12,577千円	25年度予算額	209,162千円	25年度予算額中一般財源の割合	3	%	
支出の内訳	委託料	7,235千円	国庫支出金	150,778千円	事業従事者数	H24 0.60 人 H25 1.90 人	
	負担金補助及び交付金	2,507千円	県支出金	200千円	職員人件費	H24 4,286千円	
	需用費	849千円	地方債	39,000千円		H25 13,821千円	
	旅費	714千円	一般財源	6,172千円	当事業の金銭的成本	H24 16,863千円	
	その他	1,272千円	繰入金・使用料	13,012千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25 222,983千円	
補助事業	事業の区分	国県補助		補助事業名	地域防災力向上補助金		
	補助対象	地区及び自主防災組織		補助金要綱	高鍋町地域防災力向上促進事業補助金交付要綱		
	24年度	補助額	800千円	補助の形態	国県補助	H25年度補助額	800千円 終期 平成26年度
		交付団体の決算額	804千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等			
	決算額に占める割合	100%	<small>事業経費・コスト維持 ※外部 事業経費・コスト削減          ◎東北大地震等により、住民の関心も高い、ますます充実していかなければならない業務である。H23          ◎震災後は必要ないというところがないので、やはりやっていた方がいいが、反面やらなければならぬという側面もあるため、事業自体は継続的に進めていく必要があると思われる。H23          ◎この機会を以て事業の経費・コストの削減を計り防災力の強化を図ってみたい。H23</small>				
	繰越額	0千円					

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入	
	1 自主防災組織の育成	自主防災組織を育成・指導することで、初動体制の強化を図る。	
	2 防災関連事業の整備	ハザードマップ、情報伝達手段を整備し、町民に災害情報等を周知する。	
	3 防災士の育成	地域防災力の向上を推進するため、地域防災の担い手となる防災士を養成する。	
活動指標	活動指標名	この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入	
	1 自主防災組織の防災資機材の整備	補助金等を活用した資機材の整備	
	2 出前講座、訓練の参加者	広報紙等を活用し、防災に関する出前講座、各種防災訓練の参加を呼びかける。	
	3 防災士の養成	防災士資格取得のための費用(試験料・登録料等)を助成し、防災士資格取得者の増加を図る。	

## ◎目標達成状況

	指標名	単位	23年度	24年度	25年度	特記事項	
成果指標	自主防災組織の育成	目標値	2	2	2	防災行政無線放送施設整備については、6月補正予算計上予定	
		実績値	2	2			
		達成率	%	100.0%	100.0%		
	防災関連事業の整備	目標値	千円	894	12,581		208,279
		実績値		671	11,777		
		達成率	%	75.1%	93.6%		
防災士の育成	目標値	人			10		
	実績値						
	達成率	%					
活動指標	自主防災組織の防災資機材の整備	目標値	千円	1,000	800	800	
		実績値		800	800		
		達成率	%	80.0%	100.0%		
	出前講座、訓練の参加者	目標値	人	2,000	2,000	2,000	
		実績値		2,151	2,377		
		達成率	%	107.6%	118.9%		
	防災士の養成	目標値	千円			83	
		実績値					
		達成率	%				

事務事業名	防災事業	担当課(局)	総務課
-------	------	--------	-----

## ◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	評価の理由
		自己評価	
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	防災対策は、災害基本法に基づき地域防災計画を定め、自治体を中心となって実施しなければならない。 災害発生時はもとより、平常時においても予防策を講じることが重要であるため、事業を廃止することはできない。
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	
	◎事業廃止による影響があるのか	2	
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	成果は災害が発生してから効果が得られるが、避難訓練や自主防災組織の育成を図ること等で成果が得られるものと考えられる。 さらなる効果を期待するためには、予算の確保が必要である。
	◎すでに目的は達成されていないか	2	
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	住民の防災意識のさらなる向上に期待が得られる。 一方、防災対策については、費用対効果のみで判断できない面もある。
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	1	防災対策は、自助・共助・協働の取り組みが重要であり、自治公民館を中心とした自主防災組織との連携が十分に期待できる。
自己評価点		16	

## ※町補助をしている場合のみ記入

公益 平 性	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	2	補助金は県1/3、町2/3でもって予算の範囲内を限度に補助している。防災に関する事業は、町が行うべきものであるが、その対策として自助・共助の取り組みが重要であるため、必要な事業であるとする。
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	
合計(最高4点)		4	

その他	
-----	--

## ◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	今後の方向性																																			
			防災に関する予防策は、自治公民館を核とした自主防災組織の育成や住民の意識向上などのソフト事業、防災行政無線のデジタル化など年次的に整備していく多額の財源を要するハード事業があるが、平時から災害発生時の体制づくりなど予防対策をしておく必要がある。	<table border="1"> <tr> <td>事業の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡充</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> </table>	事業の方向性	拡充				○		維持						縮小						廃止						廃止	縮小	維持	拡充			コスト	
事業の方向性	拡充				○																																
	維持																																				
	縮小																																				
	廃止																																				
	廃止	縮小	維持	拡充																																	
	コスト																																				

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の安全・安心なまちづくりのため必要な事業</li> <li>町民の防災意識醸成を全町域に広げる施策の検討を!</li> <li>防災と付けば削減は厳しいのではある程度の備えができるまでは重点的に事業を進めてほしい</li> <li>町内全域の、安全対策が講じられることが必要。</li> <li>防災事業は、町民の関心も高く要望事業も多いので、できる限りの拡充が必要と思う。</li> <li>ハード事業期間中は事業・コストともに大幅な拡充となるのはやむを得ない。</li> </ul>	外部評価委員会 評価判定欄	
事業	拡充	事業	拡充
コスト	拡充	コスト	拡充

## 平成25年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	高鍋高校ラグビー部全国大会出場補助事業	基本目標	スポーツランドの推進						
担当課(局)・係	総務課	行政係	記入者	増田 浩史	評価者	森 弘道	開始年度	不明	年度
事業の目的	意図・目的 (どうする)	郷土のPR、スポーツの振興							
	対象(誰を・何を)	高鍋高校ラグビー部(特別後援会)							
事業の内容	高鍋高校ラグビー部が全国高等学校ラグビーフットボール選手権大会に出場する際、高鍋高校ラグビー部特別後援会に補助金を交付することで選手の活躍に資することができ、もって、郷土のPR及び本町スポーツの更なる振興を図ることができる。								
事業の根拠法令・要綱等		高鍋高校ラグビー部全国大会出場補助金交付要綱							

## ◎前年度決算額及び今年度予算額

24年度決算額		500千円	25年度予算額		0千円	25年度予算額中一般財源の割合			%			
支出の内訳	補助金	500千円	財源内訳	国庫支出金	千円	事業従事者数	H24	0.01	人	H25	人	
		千円		県支出金	千円	職員人件費	H24		71	千円		
		千円		地方債	千円		H25		0	千円		
		千円		一般財源	千円		当事業の金銭的成本	H24		571	千円	
		千円			千円	(職員人件費+予算(決算)額)	H25		0	千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助		補助事業名	高鍋高校ラグビー部全国大会出場補助金							
	補助対象	高鍋高校ラグビー部特別後援会		補助金要綱	高鍋高校ラグビー部全国大会出場補助金交付要綱							
	24年度	補助額	500千円	補助の形態	臨時的補助	H25年度補助額	-千円	終期	平成24年度			
		交付団体の決算額	17,268千円	H24年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等								
		決算額に占める割合	4%	H24 4号補正により追加								
	繰越額	5,924千円										

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	この指標で評価される成果の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1										
	2										
	3										
活動指標	活動指標名	この指標で評価される活動の具体的内容および、指標の算出方法を記入									
	1										
	2										
	3										

## ◎目標達成状況

	指標名	単位	23年度	24年度	25年度	特記事項
成果指標		目標値	回			/
		実績値				
		達成率	%			
			目標値			/
			実績値			
			達成率	%		
			目標値			/
			実績値			
			達成率	%		
活動指標		目標値	回			/
		実績値				
		達成率	%			
			目標値			/
			実績値			
			達成率	%		
			目標値			/
			実績値			
			達成率	%		

事務事業名	高鍋高校ラグビー部全国大会出場補助事業	担当課(局)	総務課
-------	---------------------	--------	-----

## ◎事務事業の評価

	評価する項目	点数		評価の理由
		自己評価		
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	補助金という性質上、町が行うべき事業である。町が支援しているという姿勢を示すことが社会的、地域的に必要であると判断されるのであれば、妥当性は高い。	
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	1		
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2		
	◎事業廃止による影響があるのか	2		
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	0	有効性は測定が困難である。	
	◎すでに目的は達成されていないか	1		
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	0	効率性は測定が困難である。	
	◎費用対効果が十分に認められるか	0		
協働性	◎ボランティア・NPOなど町民との協働ができるか	2	寄附等による支援体制が確立されている。	
自己評価点		10		

## ※町補助をしている場合のみ記入

公益性 (公平性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	公益性は必ずしも高いとはいえないが、歴史的なものもあり、町民の理解は得られている(得られる)ものと考えられる。
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	
合計(最高4点)		3	
その他	・余剰金は毎年発生しているが、他スポーツ団体の育成強化費等に充当している。(本補助金はあくまで全国大会出場に要する経費に充てられている。)		

## ◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	評価する項目	今後の方向性	今後の方向性				
			拡充	維持	縮小	廃止	
総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	補助金額については減額の方向で進めてきているが、高校所在地であることや全国大会で「高鍋」の呼称が使われることによる宣伝効果も大きく、廃止の方向は難しい。また、毎年度出場できるかも不明であり、その都度、児湯5町の首長の判断を仰ぐことから、政治的判断を伴うことから事務事業評価には馴染まないと思う。	事業の方向性		○		
			コスト	廃止	縮小	維持	拡充

事務事業評価委員会評価欄	・他自治体の補助金(10万円)と比較しても大であるが、政策的なものもあり現状維持 ・他の全国大会等出場補助金との整合性を図るべきか? ・繰越金が多い、後援会補助金も近隣程度とし、町在住の選手には大会出場補助金で手当すべき	外部評価委員会評価判定欄
事業	維持	事業
コスト	縮小	コスト